

政策名	3夢のふくらむ港		責任者	港営部 振興課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	15効果的な港のPR活動をする		連絡先	052-654-7835	
事務事業名	07客船誘致の推進				

1 PLAN(目的・概要)

目的	県市民の客船への親しみを深めるとともに、港の賑わいを創出します。	事業期間	平成6年度～継続
概要	名古屋港へ客船が来るよう誘致します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	・平成21年度については、客船「飛鳥Ⅱ」、「にっぽん丸」、「ぱしふいっくびいなす」の客船見学会を実施しました。 ・平成22年度については、上記客船に加え、外国客船の入港が見込まれるのでこれについても見学会を実施したいと考えています。 ・客船見学会の実施については、スケジュール等船会社側の諸事情によって開催が難しいこともあります。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)	
客船見学会の開催数	単位	目標	-	-	3	3	3	
	件	実績	3	3	3			
事業費	単位	目標						
	千円	実績	1,167	1,168	1,201	1,861		
人員 正規職員	単位	人	0.80	0.80	0.80	0.80		事業費について、本事業は名古屋港利用促進協議会事業ですが、客船見学会実施時に本組合として岸壁使用料を減免しているため、これを本組合の事業費としました。 平成22年度の事業費は例年の3隻に加え、外国客船1隻分を見込んだ費用となっています。
		嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
人件費相当額	千円	6,948	7,016	6,866	7,022			
事業費・人件費の合計	千円	8,115	8,184	8,067	8,883			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)	
客船見学会参加者の客船への理解度	単位	目標	-	-	100	100	100	
	%	実績	100	100	100			
	達成率(%)				100.0			
客船入港隻数	単位	目標	-	-	35	35	35	
	隻	実績	29	35	30			
	達成率(%)				85.7			
観点	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・客船誘致により、市民の客船への理解が増し、名古屋港に親しみを持ってもらえる良い機会となっています。					
	目的・水準の妥当性	有・(無)	・毎回、多数の応募があり抽選を実施しています。					
有効性	成果の達成度	有・(無)	・参加者からは、客船の乗船料の設定が様々あり、比較的安価なものもあること、また、名古屋港発着のクルーズもあることを知ってもらうことができ、名古屋港のクルーズ市場の潜在的な需要を高めることができます。					
	内容の妥当性	有・(無)						
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)	・実施主体は名古屋港利用促進協議会ですが、本組合として岸壁使用料の減免などの協力をしています。					
	受益者負担の適正性	有・(無)	・受益者負担の点からは、参加者から参加費を徴収することも考えられますが、岸壁使用料の減免以外の経費をかけておらず、また他港でも参加費を徴収していないため、現在の形が止むを得ないと考えています。					
	経済性	有・(無)						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			概ね目標値を満たしているため。
		維持		○	
縮小					
	縮小	維持	拡大	コスト	
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	今後も目標値を満たすよう、同様の事業を引き続き行っていきます。さらに平成22年度については外国客船船社を訪問し、更なる寄港を促します。				